

force +start 能登半島地震災害支援「蛩」プロジェクト

～いっしょに車いすバスケット体験しませんか？～ イベント開催報告

2024年11月3日

▼目的:フォースタートが展開する被災地支援「蛩」プロジェクト

「車いすバスケットボール体験会」の被災地での開催

▼現地イベント実施日時:2024年11月3日(日)10:30準備開始 12:00～16:00

▼開催地:石川県立輪島高等学校体育館 石川県輪島市河井町42-2

▼主催:一般社団法人フォースタート

▼共催:輪島市バスケットボール協会

▼後援:輪島市・輪島市教育委員会

▼協力:石川県立輪島高等学校・非営利活動法人輪島朝市

▼連絡調整コーディネート:柚餅子総本家中浦屋・代表 中浦 正克様

▼行程:・2024年11月2日(土)

3台の自家用車にて大阪から移動。

車両①②は、宿泊地である小松市に夕方到着

車両③は、現地下見班として6時に集合出発、輪島市に15時到着し下見。19時頃車両①②のメンバーと合流。

・2024年11月3日(日)7時45分、車両①②③小松市から移動。

10時30分にイベント会場(輪島高等学校)に到着、現地スタッフと

合流。

到着後イベント準備。 正午、イベント開始。 16時、イベント終了。

17時頃輪島を出発。 19時頃小松市に到着。

・11月4日(月)お昼過ぎに大阪へ向けて出発。夕方から夜にかけてそれぞれ帰宅。

▼内容

2024年11月3日(日)12時から16時まで石川県輪島市高等学校の体育館で、フォースタートが運営するSAKAIsunsのメンバーによる車いすバスケット体験イベントを実施しました。

今回のプロジェクトは、2回の視察を経て実現。特に2回目の視察では現地の中村屋中浦様の協力を得て、イベント開催に向けた現地の支援体制を整備しました。輪島市の教育委員会による告知を通じて小学生や高校生が参加しやすい環境を整え、輪島市バスケットボール協会の方々もスタッフとして支援していただきました。また、輪島市朝市の「朝市おむすび」からは当日のおむすび100個を提供していただきました。

当日、大阪から前日入りしたフォースタートメンバーが10時30分に現地に到着し、輪島市バスケットボール協会の方々と準備を進行しました。体育館開放にあたり、輪島高等学校の校長先生をはじめとする学校関係者のご協力いただきました。体育館が2階にあるため、車いすユーザーの昇降やバスケット用の車いすの搬入は現地スタッフとフォースタートメンバーが協力し対応しました。

参加者が初めのうちは集まるか不安でしたが、近くのテニスコートで活動していた小学生・高校生やコーチ、その保護者の方たちを含めて7名ほどが最初に参加してくれました。そのあと未就学の子どもさんと親御さんが来場し参加してくれました。

バスケットボール用車いす(通称:バスケット車)の操作を楽しみ、シュートやドリブルを体験し、初めての車いすバスケットに盛り上がりでした。特に小さな男の子は、バスケット車から最後まで離れようとしないうらい夢中になっていました。その後も地元の「輪島ミラクルズ」から小学生やおとなの方が団体で参加し、その後引き続き、通行されていたご家族や、輪島市の告知を、見て来ましたとご高齢の方とご家族の方が参加してくれました。

ポッチャ体験も行い、参加者からは「初めての体験で楽しかった」という声が多く寄せられました。設住宅により子どもたちの遊び場が減っている中、こうした活動は貴重」との意見も。最終的に参加者は約30名に達し、現地スタッフも車いすバスケットを体験。「朝市おむすび」のおむすびも好評で、全員が美味しくいただきました。

今回の活動を通じて、被災地は震災だけでなく令和6年9月能登半島豪雨災害にも見舞われ、人々が生活の保障や安全を求める日々を送っていることを再認識しました。復興が進む中で被災地の状況が忘れられないように、物資支援だけでなく実際に現地に足を運び、被災された人達の表情を見て言葉を聞いて状況を感じることを、そして被災していない自分達がやれることを知り考えこれからも行動することの大切さを学びました。

被災者は突然の災害に見舞われ、自らの意思とは関係なく被災者となりました。生活の保障を支える支援はもちろん必要ですが、日常の楽しみや学び、成長を続けられる環境もまた不可欠だと感じます。

車いすバスケット体験を通じて、物質的・金銭的支援だけでなく、心の充実と生きがいを求める気持ちは誰もが持っていることを実感しました。こうした活動を通じて、それを支える取り組みを続けることの意義を感じました。これまでの支援により復興が進んだ石川県の姿があることを忘れず、共に歩いていく姿勢を大切にしていきたいです。

輪島市の人々との貴重な時間に感謝し、今後も輪島市や他地域との交流を大切にしていける決意を新たにします。

令和6年9月能登半島豪雨・・・2024年9月21日から23日にかけて石川県能登半島で発生した豪雨災害。

いっしょに 車いすバスケ 体験しませんか？

〈日時〉
2024 **11/3** SUN
12:00~16:00

〈会場〉石川県立輪島高等学校体育館
住所:石川県輪島市河井町18部42-2

〈対象〉どなたでも♡



※内容※

車いす操作、パス、シュートなど。
応援・観戦のみもOK!

途中参加・退場OK!

申し込み不要!当日直接会場にお越しください。
持ち物:動きやすい服装・室内シューズ

参加費無料!

お問い合わせ:一般社団法人フォースタート
HP <https://www.forcestart.info/> / [email forcestart.since2018@gmail.com](mailto:forcestart.since2018@gmail.com)
主催:一般社団法人 フォースタート
被災地支援プロジェクト(営)
共催:輪島市バスケットボール協会
後援:輪島市・輪島市教育委員会
協力:石川県立輪島高等学校
特定非営利活動法人輪島朝市





車いすバスケットを体験 輪島

輪島高で3日、車いすバスケットボールの体験会が開かれ、子どもから大人までの約30人が障害者スポーツに触れた。

堺市を拠点とするチーム「サカイサンス」を運営する一般社団法人「フオースタート」（大阪府松原市）が、二重被災した市民に楽しんでもらうと企画した。

参加者は大内秀之代表理事らメンバー7人から、競技用車いすの操作を学び、シュートの練習や試合を楽しんだ。輪島市出身の高校生七浦愛理さん（17）は「ぶつかり合いが痛そうだと思っていたが、やってみると楽しかった」と笑顔を見せた。













